

### 【③鑑賞対象—A:作家作品の紹介】

## 浮世絵を買おう

### —本物を美術室へ—

美術教師が鑑賞の授業で生徒に見せる作品は、教科書や画集の図版、あるいは映像資料でしょうか。自作を鑑賞させたり、郷土の作家の寄贈作品を鑑賞させたりということもあるかもしれません。

その場合、教師が気をつけなければならない点は、作品のスケール感を生徒が思い違いしないことと、作品の素材感をうまく伝えることだと思います。

可能ならば美術館に生徒を行かせ、本物を見せたいという気持ちがいづつも頭をよぎります。教師が鑑賞作品を見た経験があるならば、なおさらその気持ちは強まります。

#### ●浮世絵を手に入れる方法

「ハーブ&ドロシー」という映画をご存知ですか。ちょうど今、2作目が全国で上映中です。ニューヨークの公務員夫婦が長年絵を買い集めた結果、狭いアパートには収納できなくなり、全米50の州に寄贈するストーリーです。多くの現代作家が登場し、老夫婦とのやり取りの妙が美術教師の審美眼を大いにくすぐります。

映画の影響でしょうか、美術作品は庶民でも購入できるという現実を意識するようになりました。身近に作品を置きたいとか、生徒に本物を見せて授業に活用したいという衝動に駆られています。

まずは、「日本美術」を調べてみると我々教師でも手に入る価格帯の作品があります。浮世絵版画です。

浮世絵は、江戸時代「絵草双紙屋」という本屋で販売していました。その流れでしょうか、浮世絵は、版画を扱う画廊より、東京都千代田区にある古書街「神保町」の専門店のほうが量も種類も大変豊富です。ネット販売では、和紙のやけ具合や虫食いの微妙な穴、綴じ穴などがわからないので、一度この街に足を運んでみてはどうでしょうか。お店に入ると江戸にタイムスリップしたような気分になります。

#### ●あのゴッホ作「タンギー爺さん」の背景の広重が

開隆堂教科書「美術2・3」p.80のゴッホ作「タンギー爺さん」の背景に使われている歌川広重の「五十三次名所図会 石薬師 義経さくら 範頼の祠」をやはり神保町で購入しました。

500枚も浮世絵を所有したと言われているゴッホが背景に選んだだけに、約150年もの年月は経っていても、さくらのピンク色はとても感動的です。生徒はゴッホを知っていても、絵の背景に日本の浮世絵を使っていたことは知らず、とても驚いていました。そして、ゴッホと同じ目線に立てたことにも、時代を超えた不思議なリアル感を味わっていました。



「タンギー爺さん」フィンセント・ファン・ゴッホ



「五十三次名所図会 石薬師 義経さくら 範頼の祠」歌川広重

## ●授業に「浮世絵」を使う

### ①鑑賞「西洋 VS 東洋」

3年生の鑑賞の授業では、北斎の「神奈川沖浪裏」とクールベの「波」とを比較する授業を行っています。授業展開は、表現や素材の違いを実際の顔料やオイル、<sup>にかわ</sup>膠や<sup>こうぞ</sup>楮、和紙、キャンバスに触れながらその特性に迫ります。授業の後半は、東西の文化交流によって互いのよさを知り、それぞれが取り入れた、というまとめ方になります。

その際、「浮世絵」を数点鑑賞します。特に、西洋の遠近法を使った表現例としては、広重の「名所江戸百景 猿わか町よるの景」や同じく広重の「名所江戸百景 紀の国坂赤坂溜池遠景」を活用します。もちろん「神奈川沖浪裏」は大変高価なため、現代に刷られた復刻版を使っています。



「名所江戸百景 猿わか町夜の景」  
安藤広重



「名所江戸百景 紀の国坂赤坂溜池遠景」  
安藤広重

## ② 絵画「風景画」

1年生の絵画の授業では、大胆で平面的な構図や単純化された形や色の例として、風景画の「浮世絵」を活用しています。鑑賞した作品は、広重の「東海道五十三次 川崎」や葛飾北斎の「東海道 小田原」です。



とうかいどう こしゅうさんつぎ かわさき  
「東海道五十三次 川崎」歌川広重



とうかいどう おたわら  
「東海道 小田原」葛飾北斎

## ●最後に

本物の作品を見せる授業でのアイデアは、まだまだ発展できるだろうし、「浮世絵」だけではなく、版画であれば教科書に掲載されている作品や作家の作品を手に入れることは、安価なため可能です。また、市や仲間同士で共有することも現実的です。身近に作品を飾って、先生自身も豊かな生活を送ってください。

おくやまこうおう  
(奥山拡央：千葉県流山市立北部中央中学校教諭)